

特定領域研究「遺伝情報デコード」成果報告シンポジウム

日時:2011 年 2 月 17 日(木)13 時-17 時

場所:東北大学東京分室会議室

五十嵐和彦	東北大	あいさつ
中西 真	名古屋市立大	ヒストン H3 トレオニン 11 のリン酸化を介した DNA 損傷に応答した転写制御機構
石井浩二郎	大阪大	セントロメア欠損に伴う染色体再編成ダイナミクス
柳澤 純	筑波大	核小体ダイナミクス
前島一博	遺伝研	細胞核内と分裂期染色体内の global なクロマチン構造
大熊芳明	富山大	基本転写因子 TFIIE による転写制御から転写開始への橋渡し機構
緒方一博	横浜市立大	分化細胞特異的エンハンソーム形成とリン酸化による制御の分子基
北川浩史	群馬大	核内エピゲノム制御メカニズム解析による核内受容体の未知機能解析とその疾患エピゲノム創薬への応用
田中信之	日本医科大	糖代謝による炎症及び発癌の制御
中井 彰	山口大	タンパク質相互作用ネットワーク解析による熱ショック応答機構の解明
五十嵐和彦	東北大	SAMIT モジュールからみる核内 SAM 合成の意義
石井俊輔	理化学研究所	総合コメント

主催:文部科学省特定領域研究「遺伝情報発現における DECODE システムの解明」